

企画展

相沢岩男とあるく品川 —「ふるさと品川 Sketch」より—

期 間 平成 29 年 2 月 11 日（土）～3 月 26 日（日） 38 日間
会 場 第二展示室 小講堂
入館者数 1,892 名

〔開催趣旨〕

平成 29 年（2017）3 月 15 日に、品川区は誕生から 70 年を迎えた。その間に町並みや人々のくらしは大きく移り変わり、その様子は絵画や写真として記録されてきた。

品川区に住んでいた相沢岩男は、周囲の勧めにより昭和 54 年（1979）から品川の風景画を描き始め、その作品は「広報しながわ」昭和 57 年 4 月 11 日号から連載されたコラムの挿絵として掲載された。その後、一連の風景画は「ふるさと品川 Sketch」として品川歴史館に寄贈された。

本展示では、これらの作品を中心に、新旧の写真を交えつつ、品川区の景観の変化を振り返った。



〔展示概要〕

1. 建物のうつろい
2. 風景いろいろ
3. 憩いの場
4. 駅舎の風景
5. 広がる品川区
6. さまざまな出来事

〔記念イベント〕

二胡演奏会

日 時：3 月 26 日（日）14：00～15：00
会 場：2 階講堂（当初庭園予定のところ、雨天のため講堂にて開催）
演 奏 者：二胡奏者 ウエイウェイ・ウー ほか
参加人数：120 名